

## ■2007年度を振り返って

2007年度は第2期中期計画の初年度でした。中期計画の目標は「民設民営の“中間支援組織”としての役割を果たす」「地域の縁側として『遊友ひろば』を充実させる」「“ぐらす・かわさき”の独自性を打ち出す」の3点をあげています。

“中間支援組織”としての実績が少しずつ積み重ねられ、周囲からも一定程度認知されてきました。役割を十分果たしたとは言えませんが、市民活動のネットワークづくりやコミュニティビジネスの創出サポートネットワークなど、またぐらすサポート基金の資金的サポートなどで一定の役割を果たすことができました。

遊友ひろばに関しては、「親子ひろば」は子どもの成長とともに利用者が変わり、子育て中の母親にはとても好評で、その世代のニーズが多いことを痛感させられました。地域の縁側としての誰でも気軽に立ち寄れる場はうまく設定できませんでした。現在の「親子ひろば」「健康麻雀」「昼食会」という枠組みではない場の検討も今後の課題です。

資金的には、県・市から出ていたひろば家賃の一部の補助金も前年度で終了してしまいました。遊友ひろばの持続的な運営を目指し、厚生労働省「つどいの広場事業」を川崎市へ導入する働きかけはあまりは積極的にすることができませんでした。今年度の「親子ひろば」の活動に関しては全労済の助成金を確保することができました。

ぐらす・かわさきのミッションにあった委託事業として「高津区協働推進事業外部評価」「たま市民生活・文化産業おこしフォーラム(たまフォーラム)平成19年度事業」「市民活動評価制度構築のための調査・検討実施事業」を川崎市より受託しました。

自主事業としてあげていた調査事業などはほとんどできず、スタッフだけでは自主事業を行うのは難しいことがわかりました。

会員の数は正会員個人が9名、正会員団体が1団体、賛助会員が1名減少していますが、会費は昨年より多く集めることができました。

### 会員の状況

	正会員個人	正会員団体	賛助会員	合計
2006年度末	124名	7団体	3名	134名
2007年度末	115名	6団体	2名	123名

## ■2007年度事業報告

### ・空き店舗活用コミュニティ施設

#### 地域のたまり場「遊友ひろば」の運営(定款第5条 ~ )

##### (1) 親子ひろば

今年は、土曜日の親子ひろばの開催を6月から月に1回行いました。お父さんも一緒に参加しやすいプログラムを検討して行いました。また、昨年に引き続き毎週月・木曜日10時半~15時で開催しました。今年度は、8月から2008年7月末までの全労済地域貢献事業の助成をいただくことができ、

木のおもちゃの購入や劇団風の子の上演などプログラムの充実をはかりました。

毎週月・木曜日、月1回の土曜日の親子ひろばは、参加者が目的を持って参加できるように、何か1つプログラムを必ず開催しています。

「なのはな保育園で外遊び」(定期・新規)、「踏み踏みマッサージ」(定期・継続)、「わらべうた」(定期・継続)、「うたとおはなしの会」(定期・継続)、「親子で素食」(定期・継続)、「絵本を使ったリトミック」(定期・継続)、「0才からの絵本選び」(定期・継続)、「ベビーマッサージ」「アロマクラフト」(不定期・継続)、「手芸小物などの製作・お菓子作りの講座」(不定期・継続)、「救急救命講座」(不定期・継続)など、親子が興味を持ちそうな内容の講座を開催しました。

保育が必要な講座は、多摩保育グループの協力を得て運営しました。

夏季は、なのはな保育園の協力を得て、保育園の乳児用プールを借り、中学生から大学生までのボランティアを受け入れ、プール遊びをしました。

親子ひろばのプログラムのお知らせを、保健センターや商店街のお店に掲示し、新規利用者の確保を図りました。

それらの取り組みから、2007年度は特に月曜日の平均の参加者が増えてきました。全体の参加者も増加しています。

参加組数は、月曜日 41 回開催、348 組 (親子で 1 組) 1 回平均 8 組 (去年は 5 組)
木曜日 47 回開催、366 組 1 回平均 8 組 (去年は 8 組)
土曜日 10 回開催 82 組 1 回平均 8 組

2007年度は、近隣の方を講師としてお願いしている講座が定期的に行うことができました。また、参加者のお母さんに講師になってもらった講座も開催することができました。ひろばの中で、参加者同士が互いに教えあったり、協力し合ったりする場面が多々見られるようになって来ています。

## (2) 一緒に作って味わう昼食会

・ 第1・第3水曜日 11時～14時 会費 600円

高齢者と若い世代が一緒に作って食べる昼食会の開催(月2回)。地域の商店から購入した食材で、講師の講習を受けつつ調理し、おしゃべりをしながら楽しく昼食をともにしました。

今年度から、会費を600円に値上げしました。また、子供の参加が多いときはサロンスタッフに保育をお願いしました。

第1週は「体によい食事・玄米を中心にした健康料理」、第3週は季節に合わせたものやエスニックな国際色豊かな内容の昼食会を開催しました。

子育て中のお母さんの参加が増え、高齢者の参加は広がりにませんでした。高齢者のかたは食事を作るということよりも食べる方に集中したい面もあるようです。

22回開催し、280名(スタッフ含む、講師除く)の参加がありました。

## (3) 健康麻雀

・ 健康麻雀サロン / 毎週金曜日 10時～15時 会費：1,500円 開催日数：47日 参加者数：464名

・ 初級者麻雀サロン / 毎週火曜日 13時～16時 会費：1,200円 開催日数：48日 参加者数：494名

主に高齢者を対象とした、健康麻雀(賭けない、飲まない、吸わない)は、麻雀を楽しみながら自然に頭や指先をつかうことができ、心身の健康の促進が図られます。

2007年度から初心者教室を終了し、初級者を対象としたサロンを開催しました。ゲームを楽しみたいけど、まだ金曜日のサロンにはちょっとついていけないかも、というような人を対象に、時間も3時間と短くしました。結果これまで金曜日にいらしていた方で、もっとゆっくりゲームを楽しみたい、という方などは火曜日の初級者麻雀サロンへいらっしゃるようになりました。初心者への講習も随時行い、この講師は金曜日のサロンに参加して下さっていた方にボランティアで関わっていただいています。

金曜日のサロンは今年度は参加者がかなり減少しました。昨年度の82%の参加者数でした。近年健康麻雀を行っているところが増えた、サロン内での人間関係がうまくいかない、初級者サロンへ移動した、などがその原因と考えられます。新しいメンバーの勧誘が必要ですが、十分な宣伝活動ができなかったことは反省です。

2007年11月開催の「ねんりんピック茨城2007」(原則として60歳以上が対象で、スポーツ交流大会/10種目、さわやかスポーツ交流大会/9種目、文化交流大会/6種目に分かれ、開催都道府県内の各地で競技が実施)で健康マージャンが正式種目に決定され、川崎市からも代表選手を派遣することになりました。代表1名を選出するための予選を5月27日に行いました。主催：日本健康麻将協会、後援：川崎市・厚生労働省、会場：ぐらす・かわさき遊友ひろば、参加者：12名。川崎市代表選手3名中1名を選出し、茨城大会へ参加なさいました。ご本人から、とても楽しかったとの報告を受けました。

2008年1月も新春麻雀大会を開催し、参加者数は16名になりました。

2007年度からボランティアでサロンスタッフになってくださった瀬川さんのアドバイスで、キャンディーやお茶のサービスを行い、好評でした。

#### (4)「遊友ひろば」および書類入れボックス・レターボックスなどの貸し出し

自主事業の時間帯と定期的貸し出しをしている(毎週火曜日午前中「気功教室」、毎週水曜日「造形教室」、隔週金曜日午後「リトミック教室」、隔週土曜日午前中「ベビーサイン教室」など)でほとんど日中のひろばは使用されています。夜の市民活動団体の会議などは、市民活動支援ルームや多摩市民館グループ室など無料で利用できるところがあるので、そちらが優先的に利用されるようです。

書類入れボックスやレターボックスなども宣伝していないこともあってか、まったくの動きがありませんでした。

スペースの貸し出しは20団体に対し、延べ180回の利用がありました。(2006年は33団体に対し273回の利用でした)

#### (5)地域の物販コーナーの運営

ぐらす・かわさきの主旨にそった市民活動の支援のための物販コーナーを運営しました。

フェアトレード商品やNPO法人フリースペースたまりばの藍染などの作品、障害者施設の作品を預かり、販売しました。

#### (6)情報の発信

屋内では、壁面を使用した市民グループの会報・ミニコミ紙などの展示の他、ピンを使用しない掲示板を購入し、神奈川新聞の切り抜きなどの掲示、親子ひろばの宣伝を行ないました。

## (7) 商店街活性化のための活動

商店主を講師にした講座の企画・運営はスタッフの体制が整わず、できませんでした。

わくわくナイトバザールには1回はヨーヨーなどの販売の出店、もう1回は地域通貨を使用したフリーマーケットとカフェで参加しました。

おかみさん会への協力は、なかなか時間帯があわず、十分にはできませんでした。

### ・ぐらすサポート基金の運営(定款第5条)

ぐらすサポート基金'07はサポートA(上限10万円)6団体、サポートB(上限50万円)2団体の応募がありました。決定団体は、サポートAは「すまいるスキップ・子ども塾」「ドリームアップ健康体操クラブ」「NPO法人サイレントサポート」「旧陸軍登戸研究所の保存を求める川崎市民の会」「のぼりとゆうえん隊(06年のサポートBに続いて2年目)」、サポートBは「NPO法人ウィメンズハウス・花みずき」でした。市民活動助成としては3回目になります。応募が少なかったのが残念です。

06年度市民活動助成6団体の報告会を行いました。2団体が諸事情により欠席で、4団体の報告でした。「三田サッカークラブ」では、今回の助成を受けて学校などと協力し無事サッカーゴールを設置したことと、これをきっかけに、自分たちで今後のための基金を立ち上げたという報告がありました。また、「ぐるーぷ麦」では、メモリーサロンをぐらすサポート基金と、多摩区の磨けば光る多摩事業とで開催したことなどの報告がありました。

ぐらすサポート基金の第1期は2007年度で最終年度でした。2008年度も継続してサポート基金を行います、より継続的な支援を行うために内容を若干変更することとなりました。

### ・まちづくりに関わる調査・研究(定款第5条)

#### (1) 区民提案事業「磨けば光る多摩事業」への事業提案

「皆で調べる区民が使える活動ルームマップ作成事業」を提案しましたが、残念ながら採用されませんでした。この選考に関しては不採用理由がはっきりせず、疑問が残りました。選考過程や必要経費などに関して、問題提起をする予定でしたが、スタッフの力量不足もありますが、スタッフの人員と仕事量とのバランスが欠けていたことによりできませんでした。

#### (2) 高津区外部評価事業

2007年度は「高津区役所窓口サービス改善関係事業」外部評価に応募し、採用されました。「質の高い区民サービスとは何か」という視点をもって、聴覚・視覚・運動機能などが不自由な方や外国人や子ども連れなどハンディのある方々にヒアリングしたり、来庁者へアンケート調査を行い、評価書を作成しました。

外部評価事業としては妥当であると思われる委託金額(60万円)であっても、実際に受託する側から考えると、かなりの時間が費やされ、持続する事業としては厳しい金額でありました。スタッフのスキルの問題もありますが、外部評価の方法も含め、もう少し手軽に受託できるシステムを検討していく必要があると思われます。

#### (3) たまフォーラム事業

2006年度に続き、たまフォーラムの事業委託を受け、以下の事業を行いました。

人材育成事業/コミュニティビジネス入門講座、社会起業塾(全5回)、ベンチャーカフェ(2

#### 回) 資金確保セミナー(4回)

コミュニティビジネスを起業しようという人材を対象に、WWBジャパンの片岡さんに入門講座を、奥谷さんに起業塾の講師になっていただきました。丁寧な塾で、受講生には好評でした。また昨今、地域課題解決のための行政との協働事業が多く見られるようになり、事業計画作りなどのサポート講座開催のニーズがあるだろうと、資金確保セミナーを開催しました。内容的には好評でしたが、参加者が少なく宣伝不足を反省しました。

#### 地域通貨流通実験

地域の人たちの出会いのきっかけをつくり、人と人、人と市民活動団体、人と事業者をつなぎ、「ボランティア活動に参加しやすくなる、人と人の助け合いがやりやすくなる」ということを目指して、流通実験を行っています。期間は2007年10月から2008年9月まで。川崎自治研センターのスタッフの協力を得、ぐらす・かわさきが事務局を受託し、専修大学・日本女子大・田園調布学園大学などの教員、多摩区役所、多摩区社会福祉協議会の担当者もオブザーバーなどで参加してください、地域通貨「たま」運営委員会を構成し、「たま」の運営を行っています。

個人会員は目標数の100名にほぼ到達(95名)しているのですが、「たま」が使えるお店などの事業者会員は33、またボランティアなどに配布してくれる団体会員は10となかなか増えていません。使える場所、もらえる場所の拡大が今後の課題です。

ぐらすでの「たま」利用状況(2007年10月20日~2008年3月31日)

**受け入れ** (たま団体会員として20000たま交付される)

親子ひろば:7200たま 昼食会:2650たま 廃油せっけん:6750たま

遊友ひろば:2500たま その他:7450たま(学習会参加費等) 合計26,550たま

**配布** 22,650たま

#### (4) 登戸ふるさと子どもの行事復活の検討

2006年度作成した「ふるさと登戸のまち物語'07」の中で知った、昔から伝わる行事の復活の検討はできませんでした。スタッフ不足で、スタッフの過重労働になることが予想され、もっと広く共感する人を増やしていかないとできないことがわかりました。

#### (5) 区民会議の比較調査

各区の区民会議の比較調査も上記と同じような理由でできませんでした。スタッフだけで行うことには限界があり、ぐらす・かわさきの会員が関心をもち、積極的なボランティアが得られる活動でなければ、自主的な事業の取り組みは難しいことがわかりました。

#### (6) 市民活動評価制度構築のための調査・検討実施事業(川崎市からの委託事業)

川崎市市民活動推進委員会からの「市民活動の評価に向けて(提言)」(平成17年12月)をうけて、川崎市と協働で市民活動評価制度構築のための調査・検討事業を行う団体が公募されたのに対し、NPO法人まちづくり情報センターかながわ(アリスセンター)と共同で応募し、受託しました。

市民活動団体に対する意向調査(アンケート調査、ヒアリング調査等)を行った結果、市民活動に対する画一的な基準での評価は「市民活動の自主性・自立性を損なう」という意見が多くあ

りました。そこで、提言の中でも大きな目的である「協働で行う事業の公正性と透明性を確保する」ために、「川崎市 協働推進のための市民活動団体登録制度(案)」として、協働事業を行う、または行うことを希望する市民活動団体の情報を登録し、公表する制度を作ることを提案する報告書を提出しました。

## ・まちづくりに関わる情報の収集・蓄積および提供(定款第5条)

### (1) 学習会・講座の企画・運営

- ・ 持続可能な地域づくりの学習会として2月2日「STOP!地球温暖化 市民共同発電所づくり in KAWASAKI」というタイトルで、武蔵小杉の国際交流センターに設置する発電所について、環境エネルギー政策研究所の竹村英明さんと市民共同発電所プロジェクトの岩本孝子さんにお話を伺いました。参加者26名。
- ・ 憲法・平和問題の学習会として7月21日多摩市民館「おばさんたちが案内する未来の世界」として小沢健二さんとエリザベス・コールさんの語りとロンロコ(小型ギター)演奏付きのドキュメンタリー映画上映を行いました。ラテンアメリカのおばさんたちの反グローバリゼーションの闘いと大地とともに生きるおおらかさにパワーをもらいました。参加者48名。参加できなかった方の要望が強く、次の日も遊友ひろばで同じ会を行いました。2回目として3月8日「イラク市民の取り組みから学ぶ」とのタイトルで、日本のメディアでは報道されない「イラク市民のレジスタンス」から「イラク自由会議」へと市民が活動を広げている様子をビデオとお話で学習しました。講師は磯子で活動している向井さん。参加者20名。
- ・ 予算学習会は3月16日の日曜日、市の職員の三浦淳さんを講師に08年度予算について行いました。参加者は10名。20代の学生が2人、初めて参加してくれました。

### (2) ぐらすレターの発行

月1回(年間10回、4・5月合併、11・12月合併)発行。事業報告・地域の情報・商店街情報・イベント情報、または会員からの問題提起などの投稿を掲載し、会員や関係者へ情報提供しました。今後の情報発信のやり方として、会員の意見を収集するためのアンケートを行いました。回収率が低く残念でした。ただしぐらすレターに関しては概ね評価が高く、「楽しみにしている」との記述もあり、当面年10回発行の現在のペースで進めていくことにしました。

ぐらすレター 59 4月・5月合併号

- ・ ぐらすサポート基金2007助成団体決定
- ・ 「学力テストで学校はどうなるの？」学習会報告
- ・ 私の戦争体験 / 5.3ピースパレードのお知らせ
- ・ 市民グループの紹介：のぼりとゆうえん隊
- ・ 遊友ひろばを支えてくれる仲間たち vol.8 気功教室
- ・ 公開討論会報告
- ・ 遊友ひろば4月・5月のご案内 / MESSAGE BOARD

ぐらすレター 60 6月号

- ・ ぐらす・かわさき第7回定期総会報告 ぐらすサポート基金2006報告
- ・ 地域の縁側・遊友ひろばの報告

- ・ 商店街のおかみさん vol. 6 「COBA」
- ・ 女性自衛官人権訴訟が内包する問題を考える
- ・ 事務局便り
- ・ 6月・7月のご案内 / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 61 7月号
- ・ 地域通貨「たま」の流通実験
- ・ 豆と雑穀と私とアトピー その5
- ・ 投稿 押し付け憲法拒否、自主憲法制定に異議あり
- ・ 1 Day せっけん工房
- ・ 7月・8月のスケジュール / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 62 8月号
- ・ コミュニティビジネスに挑戦してみませんか
- ・ 学習会「おばさんたちが案内する未来の世界」報告
- ・ 事務局便り
- ・ 8月・9月のスケジュール / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 63 9月号
- ・ 子どもが持っている自然に治る力って？
- ・ 豆と雑穀と私とアトピー その6
- ・ 地域通貨「たま」・事務局便り
- ・ 9月・10月のスケジュール / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 64 10月号
- ・ 市民グループ紹介 8 ウィメンズハウス・花みずき
- ・ 映画紹介 六ヶ所村ラブソディ、little birds 戦火の家族たち
- ・ 多摩区民祭、地域通貨「たま」キックオフ / たまたま子育てまつり報告
- ・ 10月・11月のスケジュール / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 65 11・12月合併号
- ・ あなたは活動や事業の資金をどうやって確保していますか？
- ・ 社会起業塾 収穫多く終了 / 地域通貨「たま」スタートしました
- ・ 市民グループ紹介 9 / すまいるスキップ 子ども塾
- ・ 「たま」が使えるお店紹介 トラッテリア ソル レヴァンテ
- ・ 12月・1月のスケジュール / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 66 1月号
- ・ 明けましておめでとう 今年は川崎に市民共同発電所を！
- ・ 平成19年度高津区外部評価報告
- ・ 劇団風の子報告 / 会員の方へのアンケート結果報告
- ・ 地域で仲間とともに認知症について学ぶ
- ・ 市民グループ紹介 10 サイレントサポート日だまり工房 / 地域通貨「たま」のお知らせ
- ・ 1月・2月のスケジュール / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 67 2月号
- ・ ぐらすサポート基金 2008年度も行います / 予算学習会のお知らせ

- ・ たまフォーラム 資金確保セミナー終了報告
- ・ 地域通貨「たま」イベント報告・お店紹介
- ・ 市民グループ紹介 11 / 旧陸軍登戸研究所の保存を求める川崎市民の会
- ・ 道路に接続していない山林が10億円？
- ・ 2月・3月のスケジュール / MESSAGE BOARD  
ぐらすレター 68 3月号
- ・ 憲法・平和学習会報告 イラク市民の取り組みから学ぶ
- ・ 市民グループ紹介 12 / ドリームアップ健康体操クラブ
- ・ 磨けば光る多摩事業「区民と議員のフロアーミーティング」報告
- ・ たまよこネット発足記念集会 「多摩川崖線の緑をどう守るか」
- ・ 卒業式のピラマキ / 事務局便り
- ・ 投稿 問題だらけの川崎市住民投票制度素案
- ・ 3月・4月のスケジュール / MESSAGE BOARD

### (3) インターネットの活用

ホームページに毎月の遊友ひろばや学習会などの情報を掲載しました。親子ひろばなどのプログラムの情報は、ホームページを見て知った、という方も多く、一定の役割を果たしています。そのほかの市民活動団体や地域の商店街の情報などの迅速な掲載や、検索キーワードなどを工夫・収集した情報や既存の情報をうまく活かしてつなげることをめざし、リニューアルの準備をしました。また市民活動掲示板「かわさきボード」に関しては、いったん休止することになりました。

ホームページを有効に使うことに、もっとエネルギーを割ける体制が課題です。

## ・さまざまなグループとともに作るイベントなどへの参加と応援（定款第5条）

### (1) たまたま子育てまつり、たまたま子育てネットへの参加

多摩区の子育て支援のグループが一堂に会したおまつりに、今年も参加しました。

小児科医の山田真さんをお招きして講演会を開催しました。病気とは何か、子どもが病気の時にどうするか、非常に参考になるお話でした。しかし、参加者は少なく、にぎやかな「たまたま子育てまつり」の中で、座って人の話を聞くということは難しいということがわかりました。多摩区内の子育て支援グループが協力して行う「たまたま子育てまつり」は、2007年で5回目で、例年通り盛況でした。子育てまつりに関わる実行委員会を中心にできた「たまたま子育てネットワーク」では、多摩区内の子育てに関する情報のホームページを作成し、季節ごとの情報や公園情報を掲載するなど、たがいに協力し、情報を持ち寄りあって活動を行いました。

### (2) その他

- ・ 2007年度多摩区子育て支援会議に参加しました。また多摩区こども総合支援連携会議にも参加しました。
- ・ 多摩区のシンボルでもある多摩川崖線軸の緑地の保全を目的に結成した「多摩川崖線緑地ネットワーク（通称たまよこネット）」に参加し、事務局を担いました。2月23日に行った発足記念集会では80名の市民が参加し、多摩区の緑地の現状についての報告を受け、緑地をどのように守っていくのか、講演と話し合いをしました。